

質問に対する回答書（1回目）

工 事 名： R 8 営繕 文学書道館 徳・中前川 外部改修工事
 工事箇所： 徳島市中前川町2丁目

徳島県県土整備部営繕課

このことについては、次のとおりです。

番号	質 問 事 項	回 答
1	図面番号A-27（設計書29ページ） ・改修概要の「アクリルゴム外壁化粧防水ひび割れ部下地挙動緩衝材再塗布」について、 図面A-36の「壁」の部分では「※下地調整材にアスベスト含有有り」とありますが、 外壁の下地調整材に含まれるアスベストは撤去せず、緩衝材塗布を行うという認識でよろしいでしょうか？	貴見のとおりです。
2	図面番号A-33 ・屋上防水改修の③ 「立上り：既存アスファルト防水下地処理の上ウレタン塗膜防水X-2工法」について、 田島ルーフィング等のメーカーに確認したところ、アスファルト防水の上に下地処理を施しても、接着性が悪くウレタン塗膜の割れ等の原因となるとのことです。 どのような下地処理を想定しておりますか？	水性エポキシ樹脂系モルタルを想定しております。
3	図面番号A-30 ・⑧「太陽光パネルTMM工法 ※仮撤去・再取付は別途工事」とありますが、 仮撤去及び再取付の時期は、いつ頃を予定しておりますか？	仮撤去は防水工事着手前、再取付は工事竣工後を予定しています。
4	図面番号A-10・A-11 東棟3階庭上部ルーバー仮撤去・再取付は、 図面A-10において、明記されており、細目内訳で131m ² の数量が計上されています。 一方、図面番号A-11によれば、南立面図にも 「⑨改装仕上げ 目隠しルーバー：仮撤去高圧水洗の上耐候性塗料塗り再取付」と明記されていますが、仮撤去・再取付数量が見当たりません。このルーバーを仮撤去・再取付する必要はないと考えてよろしいでしょうか、ご教示お願いいたします。	貴見のとおりです。
5	図面番号A-19 図面番号A-19の「ルーバー（アルミ押出し型材）仮撤去高圧水洗い下地処理の上耐候性塗料塗り再取付」との部分について、 塗装改修における「アルミ」の下地調整は共通仕様書にありませんし、改特-05にも記載されていないため、この施工はメーカー仕様により施工してよろしいでしょうか、ご教示お願いいたします。	貴見のとおりです。